

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式					
E112E005		国語学概論 (An Introduction to the Japanese Linguistics)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 ≪令和2年度以降入学生用≫	前期	他	日本語		単独						
担当教員	氏名 門屋 飛央 E-mail 内線													
授業の概要	日本語について、学校文法、日本語の系統、音声学、音韻論、語構成、文字、待遇表現などの観点から、理解を深めていく。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 中学校で学んだ口語文法を学び直しながら、教職に対する使命感や責任感を強める。								○						
目標2 日本語の単語の特徴、文法、敬語の問題や方言の問題を理解した上で、日本語がどのような言語かを説明できるようになる。									○					
目標3 学習指導要領の「我が国の言語文化に関する事項」の理解を深めるために、自発的・協力的に授業に参加する。										○				
目標4 授業で学び得た専門的知識をもとにして、学校における言語環境のあり方について自分なりの考えを持つ。											○			
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度 (計10)								2	3	3	2			
授業の内容														
1 学校文法（品詞）														
2 学校文法（用言）														
3 学校文法（自立語と付属語）														
4 日本語の系統														
5 音声学－発声の仕組み														
6 IPA（国際音声字母）														
7 母音と子音														
8 音韻論・アクセント														
9 日本語祖語														
10 語彙・語構成・語種														
11 類義語の分析														
12 日本の文字														
13 待遇表現														
14 歴史的変遷														
15 方言														
ラ イ ク ニ ン イ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		○知識の定着を確認するために、復習プリントに取り組み、相互確認をする。 ○講義中に、隣の人と意見交換をするなどの時間を設け、活用的、応用的な学修とする。			工夫その他の	特になし							
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		口語文法、文語文法の復習（15h）											
	事後学修		学修内容の定着を図るための復習（30h）											
	想定時間合計		45											
教科書	衣畑智秀編(2023)『基礎日本語学 第2版』ひつじ書房、ISBN 978-4-8234-1195-3													
参考書	なし。プリントを配布する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート		20%	○	○	○	○						
	記述問題試験		80%	○	○	○	○						
注意事項	特になし												
備考	特になし												
リンク													
	URL												